



3月1日～7日は子どもの予防接種週間です!

4月からの進級・入学に備えて予防接種の受け忘れが無いが、もう一度母子手帳の確認をしましょう。予防接種のなかに接種期限のあるものは、自己負担で受けなくてはいけなくなります。予防接種をすることで罹ってしまったとしても重症化を防ぐことにつながります。特に、おたふくかぜは、合併症として難聴があります。難聴になると聴力は元には戻りません。

この機会に予防接種履歴と、今までにかかったことのある病気の再確認をしましょう。



ほけんだより3月号

平成30年度 社会福祉法人 栗石保育園 保健室



園庭の雪山も少しずつ少なくなり、黒い地面が顔を出し始めました。インフルエンザの流行も少し下火になりつつありますが、まだまだ油断は禁物です。これからの時期は、インフルエンザB型の流行も予想されます。熱の有無も大切ですが、胃腸炎症状も伴うこともあります。子どもさんの食事の様子、排便の有無、便性、顔色などこれまで同様観察をお願いいたします。また、胃腸炎症状でお休みする子どもも増えています。体調管理に留意しましょう。

かぜからくる急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管（鼻と耳をつなぐ管）を通して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

症状

- 高熱
- 激しい耳の痛み
- 一時的な難聴、閉そく感

予防

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ

繰り返しやすい、慢性滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切

3月3日 耳の日

耳をのぞいてみましょう

子どもの耳を観察してみてください。びっくりするほど耳あかが詰まっていることがあります。あまりすぎていると聞こえが悪くなったり、プールに入ると水でふやけて鼓膜を圧迫したり、ときには菌が繁殖して、外耳炎を起こすこともあります。

耳あかが見えていても取りづらいたときは、無理をせず耳鼻科を受診しましょう



3月の乳幼児健康診査

- 8日(金) 乳幼児健康診査
 - 13日(水) 1歳6ヶ月児健診
 - 19日(火) 3歳児歯科健診
 - 28日(木) 赤ちゃん相談
- 詳しくは広報しずくいしで確認のうえお出かけください。

保健室からのお知らせ

3月下旬を目安に健康の記録をお渡しします。予防接種など記録に追加がありましたら朱書きで記入いただきたいと思います。



滲出性(しんしゅつせい)中耳炎とは

<原因と症状>
鼻と耳をつなぐ耳管や中耳の粘膜からにじみ出た滲出液が、中耳内にたまる病気です。鼻の病気やのどの炎症により、耳管の働きが悪くなったときに起こりやすいほか、急性中耳炎で中耳にたまったウミが、完全に抜けなかったときにも起こります。

中耳に滲出液がたまっているため、耳の聞こえが悪くなるのが主な症状です。中耳炎と違い、痛みはないことが多いです。呼びかけに反応しない、聞き返しが多い、耳をよく触るときは、専門医の診察をお勧めします。

